

国立天文台・天文情報センター・アーカイブ室 中桐正夫

***旧図書館の雑BOX-①②の乾板について**

天文情報センター・アーカイブ室では国立天文台に残された写真乾板の整理を行っている。旧図書館に保管されている天体写真乾板については S 君が整理を行っており、この整理の中で天体写真以外の雑乾板について筆者が引き受けデジタルデータとして取り込むことを進めている。今回の乾板はずいぶん以前に筆者に届けられたもので、①、②と書かれた手札サイズの蓋のない箱 2 つである。どちらが①、②に入っていたとも言えないので雑BOX-①②とする。入っていた乾板（ガラス板を含む）は 23 枚、内訳はガラスと張り合わせた乾板 3 枚（像はある）、何か写っているもの 9 枚、膜面がほぼ剥れたなにも写っていない乾板 6 枚、素通しのガラス板 5 枚であった。したがって何かしら写っているものが 12 枚である。写真 1 が入っていた箱①②の写真である。

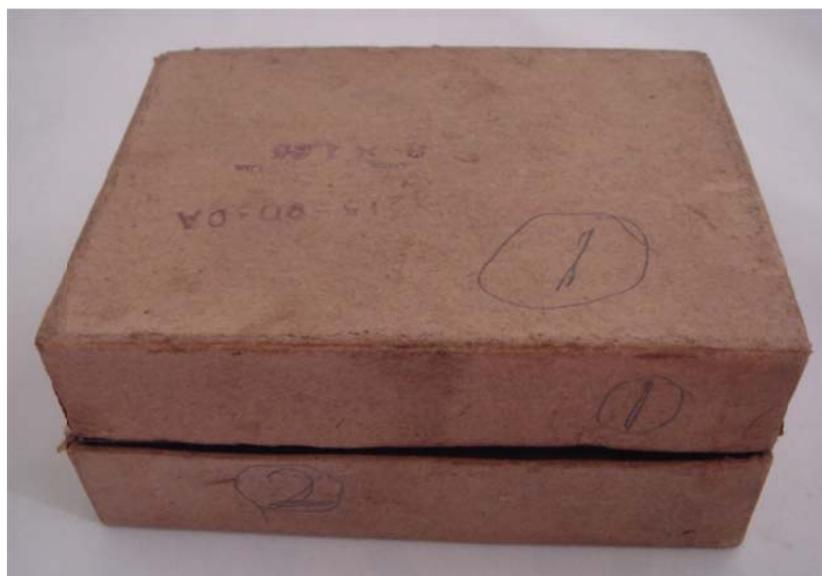
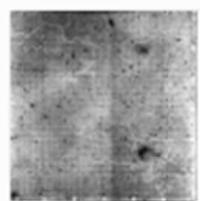


写真 1 箱には 26” Telescope と書いてある

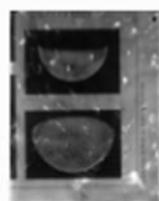
12 枚の写真のサムネイルが写真 2 である。入っていた写真は雑多であり、ガリレオの望遠鏡の写真のコピーがあり、正体の知れない望遠鏡の写真があり、星野写真あり、文献のコピーと思われる写真ありでまさしく雑BOXである。



雑BOX-①-1



雑BOX-①-2



雑BOX-①-3



雑BOX-①-4

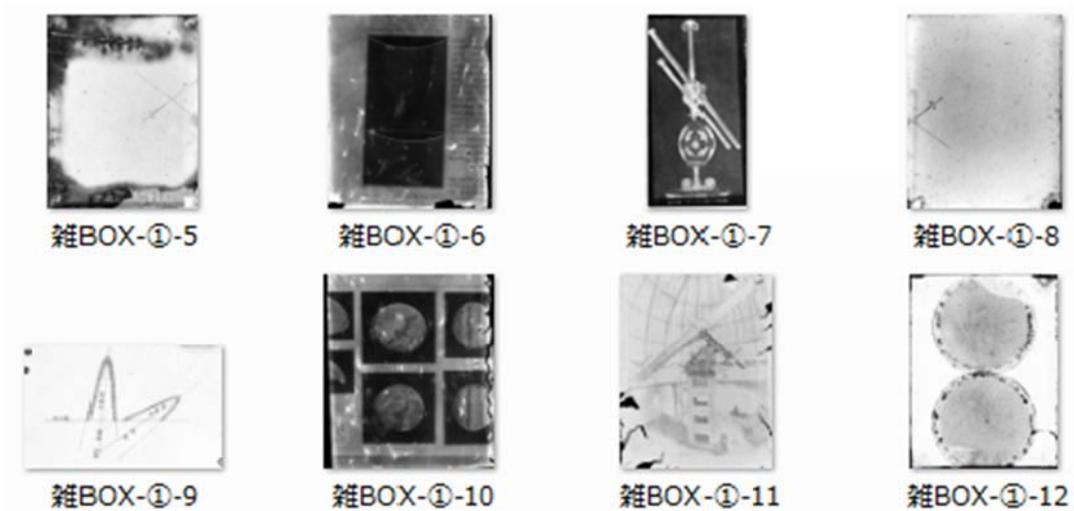


写真2 12枚の写真のサムネイル

2枚目の望遠鏡の写真について読者の中に何かご存じの方があればお教えいただきたいので大きく掲載する(写真3)。この望遠鏡は鏡筒が丸くなく扁平に見える。また経緯儀と思われるが、今までに見たことのない工夫が凝らされているようである。

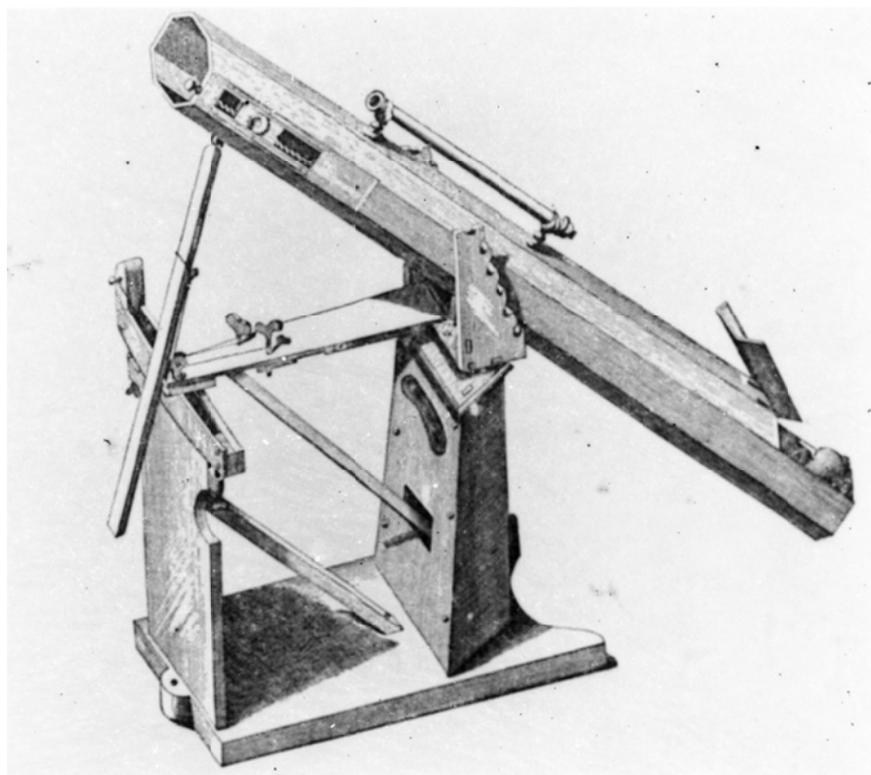


写真3 経緯台に載った望遠鏡

もう1つの大きな望遠鏡の写真はヤーキス天文台の101cm屈折望遠鏡の写真であるが、乾板の膜面が剥れ、露出が不足していたが、デジタルデータになると画像処理が施せるので何とか見られる像にまで改善できたので掲載しておく(写真4)。



写真4 ヤーキス天文台の101cm屈折望遠鏡

写真4は、相当膜面がはがれており、悲惨な状態である。望遠鏡の下に文面が見えるので書物のコピーと思われる。

これらアーカイブ室新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp